

『共に悩みを共有し、共に不安を解消し、共に希望を分かち合う』 それが私達かみもとスポーツクリニックが目指す診療です。



受付 STAFF □ 医療事務

受け付けは、笑顔で選手をお迎えして、笑顔で送り出す、おもてなしのスペシャリストです。選手のみなさんが今何をしたいのか、何を求めているのかを常に考え、それに寄り添い、期待以上のサービスで応えられるように、日々努力しています。また、気持ちよくこのクリニックに通っていただけるように、目配り・気配り・心配りを大切にしています。いつも選手の皆さんの身近な存在でありたいと思っていますので、何か不安なことがあればいつでも声をかけてください。一日も早い復帰に向けて、全力でサポートいたしますので、一緒にがんばりましょう。

診断・医療 STAFF □ スポーツドクター

どんなけががおこっているのか、問診・理学所見・単純X線・超音波検査をもとに総合的に判断する**スポーツ医学のスペシャリスト**です。受診された**その日の確かな診断をつけるようにしています**。CTあるいはMRIが必要と判断したら、その日のうちに連携病院で撮影できる体制（午後のみ）を整えています。早期の復帰のために手術的な治療が必要と判断したら、身体へのダメージの少ない関節鏡手術を選択しています。関節鏡手術は入院日数も少なく（通常は2泊3日）、早期の復帰を後押しする有用な治療法です。肩・膝関節を中心に、肘・手・股・足関節まで年間200件程度の関節鏡手術を行っています。

X線撮影 STAFF □ 診療放射線技師

放射線技師は、医師の指示のもとで、診断・治療のために放射線を取り扱う国家資格をもつスペシャリストです。X線撮影は、骨・関節の病態を評価するために欠かせない検査です。当クリニックでは、栃木県内唯一（平成26年1月現在）の最新の撮影デジタルシステム（DRX-1）を導入しています。従来のX線被ばく線量を約半分抑え、撮影時間も大幅に短縮することが可能となりました。また画像処理時間も短縮できるので、撮影から説明するまでの時間も少なくてすむようになりました。選手のみなさんに負担をかけないようにスピーディで安全で正確な画像を撮影できるように心がけています。

リハビリテーション STAFF □ 理学療法士

理学療法士は、医師の診断のもとで、選手のみなさんが困っている機能障害（けがによっておこるつらさ、痛み、動きの制限など）を改善していくスペシャリストです。4年間リハビリテーションに必要な専門的知識を身につけた国家資格をもつ**セラピスト**でもあります。機能障害を引き起こしている**さまざまな問題点**を見つけ出し、理学療法独自の評価を行い、**的確な治療**に結びつけていきます。けがを克服し、一日でも早く選手のみなさんが笑顔を取り戻してもらい、さらなる活躍ができるように、スタッフ一丸となってサポートさせていただきます。



奮

進化しつづける かみもとスポーツクリニック

PFCC:Pre-Field Conditioning Center

選手のみなさんから「走り始めてもいいですか?」「ボールを蹴ってもいいですか?」「投げてはだめですか?」という質問をよく受けます。その問いに対して応えるために、専門スタッフと一緒に実際に自分で動きを確かめてみる空間を平成25年3月に創りました。屋外を意識した全天候型のコンディショニング・センターです。裸足でも走れるように柔らかい人工芝を敷き詰めて、周囲には本格的なタータンのトラックを併設しました。これで思い切りボールを投げたり、蹴ったり、走ったりすることができます。自分には足りないものは何かを自分で気づき、グラウンドでプレーする最高の動きをイメージして確かなものをここで作りあげてください。またオール木造建築で、天窓もたくさん作りました。選手のみなさんが木の温もりを感じ、太陽の光を浴び、風の香りを感じながら、思う存分自然に包まれてトレーニングに打ち込んでください。自然と共にあるという感性を磨くことにより、広い視野、先を読む力を身につけ、現場での成績向上に役立ててほしいと願っています。このセンターの完成によってクリニックの3つのトータルのひとつである診断から治療を経てスムーズに現場まで復帰につなげていくトータルサポートができあがりました。一日も早く身体的にも精神的にもけがをする以前よりも高いレベルで現場復帰できるようにサポートしていきます。

